

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 朽網 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

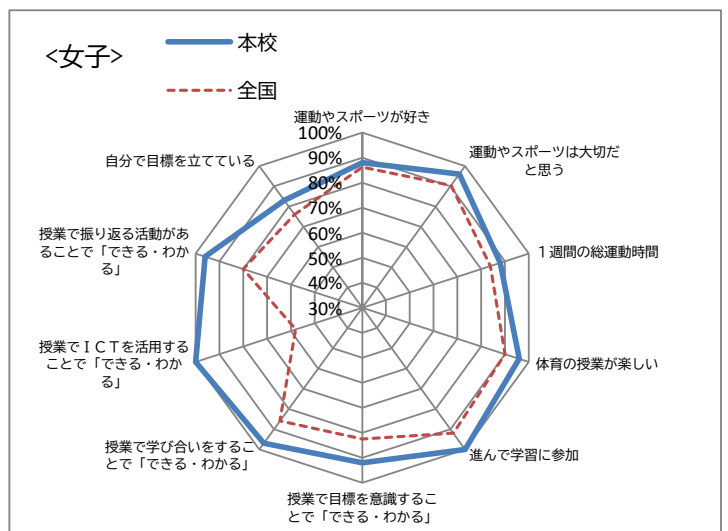
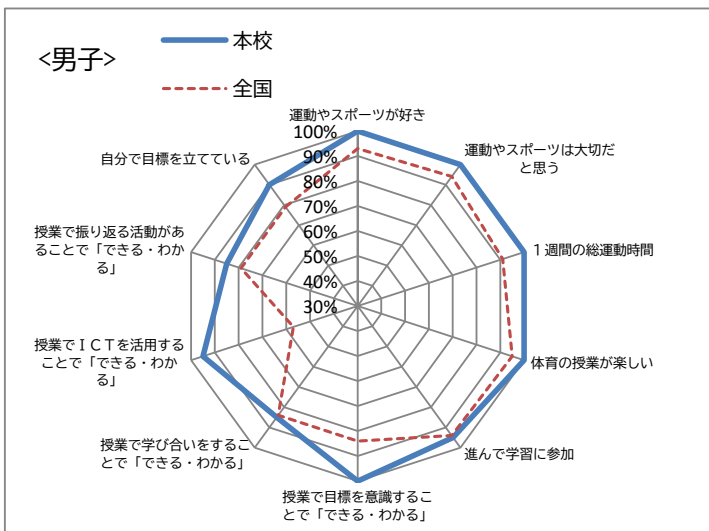
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目		○	○		○	○		○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目	○	○	○		○	○		○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

すべての項目で、全国平均を上回る結果となった。中でも「目標を意識した学習でできたり、わかったりすることがある」に肯定的な回答をした児童が多く、1時間の学習に目的意識をもって参加し、試行錯誤しながら練習に取り組んでいることがうかがえる。また、「ICTを使った学習でできたり、わかったりすること」では、女子が100%の肯定的回答を達成しており、体育科の学習においても、ICTの活用が進んできたことがわかる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

高学年では、持ち合い授業を行うことで、準備・片付けにかかる時間を軽減し、十分な運動量を確保している。今後も個々の課題解決のために、ICTを積極的に活用したり、目標をより明確にもたせられるよう授業準備を進め、児童の主体的な学びへとつないでいきたい。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

今年度も、全校で「長縄チャレンジ大会」に取り組んだ。「いよいよ朽網」の語呂合わせで1493回を目標に、全校縦割りのグループで練習に取り組んだ。外遊びが減りがちな寒い時期に大会を設定したことで、積極的に外に出て体を動かす習慣づけにもつながった。また、毎週月曜日と金曜日の朝、全校で「朽網っ子体操」を行うことが定着している。